

# さい 議会だより



長後地区要望箇所の視察（関連記事：9ページ）

3  
月  
定  
例  
会

**22年度予算を可決** … 2ページ

**地域担当職員制度** … 8ページ

シリーズ **むらのこどもたち** … 14, 15ページ

# 平成22年度 各会計の予算を可決

会 計		平成22年度 当初予算額	平成21年度 当初予算額	差 額
一 般 会 計		24億1632万1千円	29億 544万8千円	▲4億8912万7千円
特 別 会 計	簡 易 水 道	8353万9千円	1億3928万5千円	▲5574万6千円
	下 水 道	1億5902万5千円	1億8263万4千円	▲2360万9千円
	国民健康保険	4億1959万2千円	4億1027万3千円	931万9千円
	老人保健 (今年度で廃止)	60万7千円	558万2千円	▲497万5千円
	介護保険	2億4451万3千円	2億7150万7千円	▲2699万4千円
	後期高齢者医療	2633万6千円	2862万5千円	▲228万9千円

平成二十二年第一回定例会は、三月五日から十日までの六日間の会期で行なわれました。  
村長から報告一件、補正予算案七件、当初予算案七件、条例案十一件、人事案二件、その他三件の計三十一件、議員から条例案二件および最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書案が提出され、それぞれ原案どおり決まりました。



1年間の削減額は約292万円です

## 議員報酬（月額）

議 長	269,000円	→	242,100円
副議長	224,000円	→	201,600円
議 員	214,000円	→	192,600円

6月期 報酬月額×1.45月分－5%

12月期 報酬月額×1.60月分－5%

行財政改革大綱並びに集中改革プランの着実な実行で、一定の財政効果が上がっています。しかし、なお厳しい財政運営を強いられていることから、当村の厳しい財政事情を重く受け止め、議員自らの経費の削減を行なうため、議員報酬及び期末手当の削減を実施します。議員報酬は、昨年度に引き続き月額額の十パーセントを減額します。六月及び十二月に支給される期末手当には加算率を適用せず、減額した報酬月額をもとに算定した支給額から、さらに五パーセントを減額します。

## 議員報酬等の 減額を継続



立派にお話を聞いています（佐井小学校入学式）

# 近年にない緊縮型の当初予算 村長の編成方針は

工藤委員

平成二十二年度当初予算は、近年にない緊縮型となっている一方で、財源の確保や事業の選択など、工夫が見られる予算と感じている。村長はどのような思いを予算に反映させたのか。

限られた財源で工夫していく

村長

平成二十二年度は、二十一年度からの繰越事業として実施する一連の「ブロードバンド整備事業」、対象が中学校卒業までに拡充した子どもの医療費給付、父子家庭への支援など、子どもの生活環境の改善を図る事業を実施する。  
保育所建設など大型建設事業が終了し、平成二十二年度当初予算は、緊縮型予算となっているが、基金に頼らない予算が編成できた。経費の削減も限界に近い状態ではあるが、限られた財源の中で創意と工夫、住民・議会・職員の理解と協力により取り組んでいきたい。

## 子どもの医療費無料化

# 中学生までに対象範囲を拡大

川岸委員

子どもの医療費給付の対象を、四月から中学生まで拡大する条例案が提案されている。村長の考えは。

子育て・生活環境の改善を図る

村長

財政負担が増えるなどの議論があつたが、村ができる範囲で子育て・生活環境の改善を図らなければならない、との思いから決断した。



元気に成長してますね！

# アルサスの早期改修を

宮川委員

きめ細かな臨時交付金事業の入札差額分をアルサス改修事業に注入することは出来ないか。

ができない。大規模的なものを優先したほうがいいかと思う。詳細設計の段階で判断する。

十分考慮する

参事・総務課長

事前のメニューとしてあげていないので無理かと思う。しかし、公共施設の維持補修に関する条例等も整備され、大規模改修で事業費が足りないとなれば十分考慮しなければと思っている。

雨漏り箇所

優先を

宮川委員

雨漏りの部分は優先すべき。

設計の段階で判断

参事・総務課長

事業費を把握すること



アルサス山側歩道部分は舗装工事が終了

## きめ細かな臨時交付金

平成21年度国の第2次補正予算に伴う交付金。主にインフラ整備等を支援する交付金であり、佐井村には7018万2千円が交付されます。 P13参照

# ブロードバンド事業 今後の計画は

川岸委員

地域活性化・公共投資臨時交付金の交付額が、見込みより四千九百万三千円増額されている。これにより、計画を変更したブロードバンドに関する事業が予定どおり実施できるのか。

全世帯へ

告知端末機配備

参事・総務課長

交付金の増額により、起債(村の借金)を減らすことができた。

『地域情報通信基盤整備事業』で村内全域に光ファイ

3月定例会終了後、総務省東北総合通信局より『ICTふるさと元気事業』について、当村が「不採択」となった旨連絡がありました。

村では、『地域情報通信基盤整備事業』及び『ユビキタスタウン構想推進事業』を計画どおり実施しつつ、不採択となった『ICTふるさと元気事業』で計画していた65歳以上の方がいない世帯への端末機設置について、別の形で設置できないかどうか、検討を進めています。

イバを敷設し、全世帯に告知端末機を配備する。『ユビキタスタウン構想推進事業』で六十五歳以上の方がいる世帯に見守り・防災情報・お知らせ機能のある端末機を、役場・アルサスに大型ディスプレイを設置する。

また、六十五歳以上の方がいない世帯にも整備できるように『ICTふるさと元気事業』に申し込みをしているので、採択された場合は当初の計画どおり全世帯での利活用が可能になるものと期待している。

# 佐井地区診療所

## 早期経営改善を

工藤委員

佐井地区診療所の赤字補てん分として、補正予算に一千四百八十四万一千円計上している。毎年赤字が続くと考えられるが、毎年補てんするのか。

赤字は続く見込み

村長

歯科診療所の平成二十年  
度欠損金（赤字）は、経営



4月からは夜間診療を週2回行なっている

努力をしたにも拘らず生じたものであり、医療センター全体の健全化計画に基づき、計画的に解消を図ることになっている。

歯科では夜間診療の拡充、福浦・牛滝地区への出張診療、職員の配置の見直しを検討しているが、今後赤字は発生するものと思われる。なお、平成二十五年で医療センターは解散され、それぞれの自治体が

病院・診療所を運営することになっている。

経営改善が必要だ

工藤委員

医療センターの外部監査により、医療費に対する人件費の割合が高いことを指摘されているため、経営改善に努めていただきたい。

更なる経営改善に

努める

村長

歯科保健の充実により患者数は減っているが、経営改善に努め、赤字を解消できるよう取り組んでいきたい。

# 新たな消防団員の勧誘は

竹内委員

村をはじめ全国的にも消防団員の減少が問題になっている。新たな消防団員の勧誘に対する考えは。

退職者へ協力仰ぐ

村長

消防分署を退職した方に、長年培った知識・経験を活かし、協力してほしいと考えている。

支援方法検討する

参事・総務課長

消防団および消防分署の



昨年の観閲式での分列行進

関係者と協議し、様々な角度から、どのような支援方法があるか考えていきたい。

# 公共下水道の加入促進を

川岸委員

公共下水道への加入率ほどのくらいか。

矢越・両佐井地区  
16・7%

産業建設課長

矢越・大佐井・古佐井地区百六戸が加入し、十六・七%となっている。なお、百四十八戸は独自に浄化槽を設置している。

浄化槽設置家庭

への加入促進は

川岸委員

下水道会計の維持には、加入率の向上が不可欠である。浄化槽を設置している家庭の加入促進を考える必要があるのではないか。

メリット説明し  
促進に努める

村長

それぞれ新築・改築等で百万円以上の経費をかけているものと思われるが、維持管理費等のメリットを説明し、住民サービスに不公平が生じないように加入促進に努めたい。



下水道工事は平成21年度で終了している

## 国民健康保険税 滞納分の解消は

川岸委員

国民健康保険税の滞納分は解消されているのか。

収納率は向上

住民福祉課長

不動産・給与・原子力給付金（電気料金の還元分）などの差し押さえにより、昨年度は六%だった滞納繰越分の収納率を十一%まで引き上げている。

税率改正は

川岸委員

新年度の国保税の税率は改正するのか。

若干引き上げの可能性

村長

平成十七年度から五年間税率は改正していないが、来年度は若干引き上げる必要があるものと見込んでおり、国民健康保険運営協議会の判断を仰ぎ、決定する。



多くの村民が通院している大間病院

# 奨学金

## 滞納防止対策は

川岸委員

四月から奨学金の償還が始まる対象者へ、どのような対応をしているのか。

1年分を

一括して送付

教育長

借用証書・返還書の提出



奨学金制度は次代の子どもたちにも必要

を求め、納付書の送付先を確認している。納付書は奨学生本人か保護者へ十二ヶ月分を一括して送付している。

現年度分の

収納率は

川岸委員

現年度分の収納率はどのくらいか。

85%〜90%の

見込み

教育委員会副参事

八十五%から九十%を見込んでいます。

滞納収納率は向上

教育長

今年度、滞納分を十二%収納する予算を見込んでいたが、夜間徴収や個別面談などにより、三月三日現在二十一・六%収納している。

毎月納付しない

場合は

川岸委員

年間十二回の償還のうち、数回しか納付していない

い方への対応は。

文書・電話で督促

教育委員会副参事

納付されない状態が六ヶ月経っても解消されない場合、文書で督促している。さらに二〜三ヶ月ごとに電話や文書で納付をお願いしている。

働きかけによって納付する方もあるので、今後は三ヶ月を目途に督促を行なう。

支払方法の

多様性を図れ

川岸委員

郵便局やコンビニエンスストアで支払いが可能な納付書を使用できないか。

前向きに検討

教育長

前向きに検討する。



今年度から指定管理者制度が導入されている

矢越地区生活改善センター

## 指定管理者制度

### 集会施設への移行は

宮川委員

集会施設を指定管理者制度に移行する場合は、地域の要望等を受け、施設の整備を進めるべきである。

連携し進める

村長

地域の皆さん、総代を中心に連携を取り、不便をかけないよう進めたい。



三法交付金で建設した佐井村保育所

## 新たな事業の導入は

宮川委員

三法交付金などの財源が今後厳しくなる中、財源確保のため新たな事業の導入が必要ではないか。

具体的に  
なり次第  
相談する

村長

今模索している事業がある。今月いっぱいである程度の素案、青写真を描き検討して、具体的にないと議会に相談する。今現在それを期待している状況である。

## 各地区・各町内会へ配置

# 地域担当職員制度

川畑委員

新年度から各地区に配置する職員の位置づけは。

各地区・各町内へ  
出向く

村長

地域担当職員制度を設け、各地区、各町内へ出向き行事、問題点等住民と行政との架け橋となりコミュニケーションを図っていき

派遣する職員数は

川畑委員

派遣職員数は。

3名ずつを予定

参事・総務課長

各地区・各町内三名ずつを予定している。この制度により佐井村むらづくり基本条例の基本理念に基づき、職員がきめ細かな意識改革に取り組んでいきたい。



これからの活用が期待される水産物加工処理施設

## 水産物加工処理施設 積極的な利活用を

川岸委員

村が保有する水産物加工処理施設を手づくりマートに無償で貸し付ける計画があるが、どのような事業を展開するのか。

今後具体的に  
話し合う

産業建設課長

具体的な協議はしていない。これまでは昆布茶のバック詰めなどの作業をしてきたが、今後具体的に話し合うことにしている。

# 青い森信用金庫佐井支店 存続へ向け行動を



存続が望まれる信用金庫

川岸委員

青い森信用金庫佐井支店の涉外担当者が不在となり、住民サービスが低下している。住民が、支店そのものの廃止に対する不安も抱き始めているため、存続に向けた行動をすべきではないか。

議会と協力し  
行動する

村長

信金も厳しい状況にあると思うが、議会と協力し存続のお願いをしていきたい。

# 国からの臨時交付金 地区要望へ充てるべき

竹内委員

五種類の地域活性化交付金に伴う各事業が決定したが、公共施設の改修事業が主なものとなっている。

今後、このような交付

金がいつ交付されるかわからない。予算面で実施できなかった各地区からの要望に応えるべきではないか。

緊急を要する  
事業優先

村長

緊急を要する事業を優先し、実施することにした。実施できない事業を軽視しているわけではなく、今後也十分精査し事業を進めていく。

解消を図るべき

竹内委員

要望の中には県の補助対象にならない事業もあり、実施する場合は村の負担が必要となる。財政的に実施が難しいことは理解するが、一年に一つずつでも解消を図るべきではないか。

可能な範囲で  
対応する

村長

財政面を考慮し、可能な範囲で対応したい。



長後地区からの要望箇所

## 【5種類の地域活性化交付金】

- 地域活性化・生活対策臨時交付金
- 地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金
- 地域活性化・経済危機対策臨時交付金
- 地域活性化・公共投資臨時交付金
- 地域活性化・きめ細かな臨時交付金



川畑 勲夫議員

# 矢越 大沢導船溝

## 公共事業で改修すべき

改修の必要性低い

村長

利用者数、費用対効果を考えると、改修の必要性は低い。矢越漁港には十分な係船スペースがあるので、そちらを利用していただきたい。

川畑議員

地区との話し合いは

地区からの要望に対し、ただ「改修できない」と回答するのではなく、話し合いの場を設けるべきではないか。

産業建設課長

状況整理し話し合う

状況を整理したうえで、関係者との話し合いの場を設けたい。

改修できない

村長

十数cmの沈下が見られるが、災害復旧事業にも該当せず、改修はできない。十分機能を果たしていると考ええる。

公共事業での改修は

川畑議員

行政では斜路の改修ができないということ、矢越地区に対し、住民提案型事業での実施を提案していると同っている。地区が改修すると四〜五年も要するため、公共事業で実施したほうが費用が低くなるのではないか。

改修すべき

川畑議員

矢越漁港では、糠森団地下・大沢・桜島に係船している船をすべて収容できない。大沢を改修すべきである。

矢越漁港の活用を

産業建設課長

県は改修しない考えである。放置している廃船を整理するなど、矢越漁港の活用を考えていただきたい。



大沢導船溝視察の様子

## 急傾斜地整備要望 早期の対応を

計画どおり

完了予定

村長

整備は県が行っているが、原田区域は平成二十三年度、磯谷区域は平成二十四年度で事業を完了する予定である。

矢越上道地区は

川畑議員

地区から整備要望が出されている矢越上道地区は、県による調査が実施されたものの、事業の採択に至っていない。住家の戸数が少ないことが原因とされているが、整備できないか。

調査・検討を

いただく

村長

下北地方漁港漁場整備事務所などと話し合ったが、基準に達していないため計画できないとのことである。

再度調査を依頼し、現地

を見ていただいたうえで検討してもらいたいと考えている。

川畑議員

現在実施されている原田・磯谷地区の急傾斜地整備の状況は。

3月定例会

佐井中学校体育館

計画どおり改修を

川畑議員

佐井中学校体育館の改修はいつか。また、改修費用が多額になった場合は新築するのか。

大規模改修を行う

教育長

平成二十四・二十五年度に大規模改修事業を予定しており、新築計画はない。

耐震強度の調査は

川畑議員

耐震強度も含めた調査をしたうえで、工事計画を立てるのか。

新耐震基準で

設計済み

教育長

佐井中学校体育館は、新耐震基準に基づき設計されているので、調査はしない。現在行なっているそのほかの調査の内容は、三月



改修が待たれる佐井中学校体育館

中にはまとまる見込みである。

多額な事業費が

必要では

川畑議員

腐食が進んでいるため、改修には相当な事業費が必要と思うが。

改修費は約1億8千万円

教育委員会副参事

約一億八千万円を見込んでいる。

新保育所を視察して



自動で上下するステージ

総務文教常任委員会 委員長 坂井文明

旧保育所は、昭和四十三年に開所され、この三月をもって閉所された。開所から四十二年間、約千四百人も多くの子ども達が修了しました。改めてこれまで保育業務に携わっていただいた歴史所長をはじめ保育士や職員の方々、保護者の方々に感謝と敬意を表します。

さて、三月定例会開会中の三月九日に真新しい新保育所を視察した。新保育所の建設の財源は、電源三法交付金を活用し、二億六千

七百万円の工事費で完成した。保育室、事務室、子育て支援室、遊戯室など全般にわたって床暖房が施され、また遊戯室のステージは上げ下げが自動で行うことができ、各部屋全体に陽光が射し、すばらしい環境のもので保育業務を行なうことができる。

昔のことわざに「三つ子の魂百まで」というのがある。人の人格形成が幼児の間に定まるといふことを知っているのだが、子ども達にとっても充実した建物での生活は、将来に亘って基礎をしっかりと固めることができる場所でもある。

新年度から、保育所は指定管理者制度により社会福祉法人 吉幸会が運営し、佐井村の児童福祉は新たなスタートを切ることとなったが、子ども達が元気いっぱいに学び、遊び、楽しい生活の中から、心豊かたくましく、郷土を愛する心を育てて下さることを期待する。

# 追跡質問 アルサス改修工事 観光シーズン前に実施を

山口議員

十二月定例会で質問したアルサス改修工事について、さまざまな工事などが説明されたが、計画どおり進んでいるのか。

**歩道部分の補修のみ終了**

村長

アルサス山側の歩道部分の舗装のみ終了している。

**トイレの改修時期は**

山口議員

間もなく観光シーズンに入るが、トイレ改修などはいつ実施するのか。

**4月中に終了予定**

参事・総務課長

地域活性化・経済危機対策臨時交付金による各事業の執行残を、全額アルサス

改修費に充当するため、各種事業費の確定後に実施することになっている。

四月中にトイレ改修工事を終了し、観光シーズンに備えることにしている。

**工事費の総額は**

山口議員

最終的なアルサス改修工事費の総額は。

改修費は

約3千万円

参事・総務課長

約三千万円である。調査の結果、消防法に定められている特殊扉の設置が必要となり、当初の計画と合わせて整備することになっている。



本格的な観光シーズンが始まります

追跡質問

# 下北交通(株)コミュニティバス 運用体制の早期改善を

川畑議員

十二月定例会で質問した下北交通(株)のバス路線については、協議・検討に入るとしていたが、どのような状況か。

6月から

**新体制で運用**

行財政改革室長

磯谷線については、下北交通(株)から改善策を提示していただいた。現在運行しているコミュニティバス(大間病院への送迎バス)と一本化できないか協議し、六月から新しい体制で運用したいと考えている。

**通院以外の利用は**

川畑議員

通院患者でなくても、コミュニティバスを利用できるということか。

混乗する

計画である

行財政改革室長

通院患者、それ以外の方、大間高校の学生も混乗する計画である。

早期に改善

できないか

川畑議員

帰りのコミュニティバス一便はアルサスで折り返すため、長後方面の患者の多くは、早く受診が終わっている状態である。六月を待たずに改善できないか。

協議する

行財政改革室長

状況は把握しているのですが、早期に改善するよう協議を進めたい。

### 追跡質問

# 原田漁港 早急に整備せよ

田中議員

六月定例会で質問した原田漁港の整備について、県へ要請することのであったが、村長はどのような対応をしたのか。

分が出ています。利用者の不便を解消するよう、県へ要望している。

### 県へ状況説明

村長

下北地方漁港漁場整備事務所に状況を説明し、調査をしてもらうことになった。

### 早期の対応を

田中議員

動力船が入りできず、事故も起きかねない状況である。早期の対応をお願いする。

### 県へ要望している

村長

どの漁港も整備から年数が経過し、支障を来す部

## 第1回臨時会（2月24日）

### 【可決した議案】

- ①平成21年度佐井村一般会計補正予算（第7号）・・・8328万円の増額  
（地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業）・・・8204万円

・川目地区生活改善センター改修事業	592万円
・原田地区生活改善センター改修事業	789万円
・寿荘解体及び避難場所整備事業	483万円
・旧消防庁舎解体及び駐車場整備事業	875万円
・旧保育所改修事業	1603万円
・歌舞伎の館改修事業	162万円
・森林体験館改修事業	586万円
・ケビンハウス改修事業	415万円
・村営住宅改修事業	500万円
・教員住宅改修事業	2200万円

- ・投票人名簿管理システム導入事業・・・124万円 など



トイレの水洗化工事が行なわれる

川目地区生活改善センター



解体される旧消防庁舎

- ②佐井村辺地総合整備計画の変更について  
（福浦辺地における村道福浦川目線整備事業に係る事業費が増額となることから計画の一部を変更するもの）

# どもたち



みんなで火の用心！（春の火災予防運動パレード）

## 佐井村保育所

### 保育方針

豊かな感性を持った

子どもを育成する

### 保育目標

『仲良く明るく丈夫な子』

指定管理者

社会福祉法人吉幸会

佐井村保育所長 岡本良夫

ひとりひとりの子どもに芽生えている力、これから芽生えようとしている力を理解することを大切にして、子どもの持つ力や芽生えようとしている力を伸ばすために保育を通じて子どもたちの中に芽生えつつある意識や意欲を見つめて援助していきます。

子どもの個人差を理解しながらひとりひとりの心に添った保育を心掛けていきます。

# ～未来への財産～

# むらのこ



みんな並んで はいチーズ！



同じポーズで息の合った子どもたち



元気いっぱい！



おいしいおやつ時間



思い思いにブロックを使って遊んでいます

## 入所児童

※ 4月1日現在

こひよこ組（1歳児） 7人  
ひよこ組（2歳児） 6人  
うさぎ組（3歳児） 9人

くま組（4歳児） 9人  
ぞう組（5歳児） 17人  
合計 48人

# 議会報告会を開催しました

佐井村議会では、村民の皆さまとの対話の機会を設け、議会活動に対する批判や意見、村政に対する提言などをお聞きする「議会報告会」を、3月31日から4月12日にかけて、4会場で行ないました。皆さまから提言、ご意見としてあったものを区分・整理し、後日、報告させていただきます。



(本村地区)



(牛滝地区)

各地区での報告会の様子



東出竹子さん  
(磯谷)

平成二十二年五月三十一日で人権擁護委員 川岸延子氏の任期が満了するため、後任の人権擁護委員の候補者として、東出竹子氏を推薦することに、全会一致で同意しました。

**人権擁護委員の候補者  
東出竹子さんの推薦に同意**



渋田昌平さん  
(古佐井)

固定資産評価審査委員 渋田昌平氏の任期が平成二十二年三月二十二日で満了するため、引き続き同氏を固定資産評価審査委員に任命することに、全会一致で同意しました。

**固定資産評価審査委員  
渋田昌平さんの再任に同意**